

違憲の戦争法案 通すな

23日、全国でいっせいに行われた戦争法案の廃案を求める若者行動。東京と京都から、若者のスピーチを紹介します。



シールズ・大学1年生

伊勢 桃李さん (19)

してはならないといわれてきたにもかかわらず、無視して作成し、揚げ句の果て、流出した「知らない」と中谷防衛大臣はいいました。こんな暴挙が今、実際に行われています。

違憲の法案を通すなんておかしいし、強行採決するなんておかしい。慎重な審議もできずイライラして幼稚なヤジを飛ばす総理もおかしいです。

欠陥だらけの平和安全法制の下に、私や私たちの求める平和はありません。私は、多くの人の不断の努力によって守られた憲法を、そして平和をないがしろにする現政権に怒っています。

この前、流出した防衛省の情報は、法案成立後の自衛隊のスケジュールまで組んであります。そんなことは

平和安全法制という違憲の法案が(衆院で)強行採決され、そ

の法案は慎重な審議はされず、この前の国会答弁で総理は「どうでもいいじゃん」というヤジを飛ばしました。

声をあげ未来を守ろう

私はしゃべるのが苦手だし、うまく反対する理由をいえないかもありません。でも、私は学ぶことをやめないし、間違えていることには間違えていると、違憲なものには違憲だと、人権くらい守れと、私やそしてきっと仲間たちもい続けるし、黙りません。

政治は政治家に任せればいいのか、デモは怖いとか、友だちがいなくなりそうだとか思って、体が萎縮していませんか？ こうやって路上に立つことは恥ずべきことではありません。私は後悔して、声を押し殺して泣くようなことはしたくないし、そうするしかないような世の中にしたく

ありません。そんな世の中なんて次の世代に受け継ぐことはできません。もし、あなたもそれが嫌だと思つたら、一緒に声を上げて歩きましょう。一人の人間が声をあげることこそ、今求められています。一人ひとりがパワーです。その力をあきらめることも捨ててください。民

主主義や未来を守るために使いましょう。あなたがあなたでよろうと努力する限りは、決して無力なんかではありません。平和は、民主主義は、未来は、私や、デモ参加者、街を歩いているみなさんの手の中にある

です。

東京
表参道

「表参道アモ」で戦争法案廃案を訴える参加者 28日、東京都港区



8/24 5/25

安倍政権終わりの始まりだ



若者憲法集会・大学1年生

小林 俊一郎さん(19)

山梨県の都留市に住んでいますが、まだ20年生きていない短い人生の中で、その多くの時間をこの吉祥寺

東京・吉祥寺

た吉祥寺がその一部を担っているというところがうれしいです。僕は安倍政権に怒っています。というか安倍晋三に怒っています。

変えたい日本の法案を二つにまとめて、審議する気もなく、意味のない言葉ばかり連ねて口先でごまかそうとする態度にめちゃくちゃ頭にきています。

法案一つ一つが人の命に関わることなんです。本日は法案一本につき100時間以上審議したって足りないくらいじゃないですか。それを二つにまとめて適当に審議するってどう考えてもおかしいでしょ。日本の人たちがなめてるでしょ。

この前ポロッと本音を出しましたよね。どうでもいいんじゃないって。どうでも良くないんだよ。本日にどうでもいいと思ってる

変えたい日本の法案。んだったら、総理大臣を二つにまとめて、審議する気もなく、意味のない言葉ばかり連ねて口先でごまかそうとする態度にめちゃくちゃ頭にきています。法案一つ一つが人の命に関わることなんです。本日は法案一本につき100時間以上審議したって足りないくらいじゃないですか。それを二つにまとめて適当に審議するってどう考えてもおかしいでしょ。日本の人たちがなめてるでしょ。でもそれから数日間はずっと怒ってました。原発の問題です。放射能が体に入るとか、そんなこと言ってる場合じゃないでしょって思いま

した。でも一番怒っているのは原発という名の時限爆弾を地震や災害の多いこの国にこんなたくさん建てたことですよ。おかしいでしょ。勉強すればするほど分かりました。

僕は安倍政権に本当に怒っているんですけど、安倍政権もポロポロですよ。支持率が落ちて、まだ下がりがそうですよ。安倍政権は絶対につぶれます。でも安倍政権がつぶれるっていうのはそれ以上の意味があります。今まで続けてきた無責任で国民のことを考えられない日本の政治の終わりの始まりです。安保法制は終わりの始まりの第一歩です。だから2015年8月23日、僕は安保法制に反対します。

8/24
赤坂



シールズ関西・大学2年生

齊藤 凜^{りん}さん(19)

この夏、私はたくさ
ん平和について考えま
した。考えざるをえな
い夏でした。

雲ひとつない空を見
上げるたび、この空か
ら爆弾が雨のように降
ってきたときのことを
想(おも)い、大きな
セミの声を耳にするた
び、そのセミの声をか
き消すほどの大きな空

私は、安倍政権が誕
生してから、どんどん
戦争が近づいてくるよ
うな気がしています。

大きな反対を無視し特
定秘密保護法が制定さ
れ、武器輸出三原則が
撤廃されました。集団
的自衛権の行使容認を
閣議決定しました。そ



「個人としての価値」尊重して

して、いま戦争法案を
数の力で押し通そうと
しています。
私は、自分が生きて
いく将来が見えなくな
ります。こんな日本で
生きたいと思えない
し、つぎたいと思える
職業も見つからない。
安倍首相が理想として
進めていく社会にこの
まま身をゆだねたくな
いから、いまここに立
って安倍政権に反対の
声をあげています。

私は、あの銃を持っ
た少年が銃を捨て、本
を捨てたりボールを蹴
ったりしてほしいと思
います。人を殺すので
なく命を大切にしてい
たい。たくさんの人と
出会い、自分の頭で考
え、人を愛する喜びを
知ってほしい。

私の弟は高校球児
で、平和な日本で毎
日、白球を追って、大
声で笑っています。私
は弟に人を殺したり殺
されたりすることを強
要される未来が、絶対
にくることがないこと
を願います。

世界中の人が自分の
価値を奪われ、兵士と
してしか生きることの
できない存在でした。

戦争法案が成立し、
自衛隊の活動が拡大す
れば、日本でもたくさ
んの人の「個人として
の価値」が失われるだ
けでなく、他国でたく
さんの「個人としての
価値」を奪うことに私
たちが加担することに
なるはずで

「個人としての価値」
を尊重し、他者の「個
人としての価値」を尊
重し、武力でなく話し
合いで問題解決してい
く社会を実現させた
い。そんな社会こそ私
が生きたい未来だから
です。